

# 上牧町と包括連携協力を締結

2026.03.31 学長室 社会連携 地域・企業との連携 6つのCONNECT 地域社会とつながる



3月27日、天理大学（永尾 比奈夫学長）は、上牧町（阪本 正人町長）と包括連携協力に関する協定締結式を執り行いました。

天理大学仙之内キャンパス本館第3会議室で行われた締結式には、天理大学から永尾比奈夫学長、岡田龍樹副学長、中谷敏昭体育学部長が出席。上牧町からは、阪本正人町長、永井工仁教育長、丸橋秀行教育部理事が出席しました。

今回の協定は、7つの連携事項として、「まちづくりのための連携に関すること」「教育、文化の発展のための連携に関すること」「地域産業振興のための連携に関すること」「人材育成のための連携に関すること」「スポーツ活動の推進及び健康増進の連携に関すること」「生涯学習の連携に関すること」「その他、両者が協議して必要と認める連携に関すること」が定められ、相互の発展に資する連携協力の内容となりました。

協定書署名に先立ち、上牧町の丸橋教育部理事より、本協定締結に至る経緯が説明されました。丸橋理事は、「小中学校部活動の地域展開を検討する中で、前教育長を通じて天理大学の中谷先生に相談したところ、指導者の確保や放課後塾のアドバイザーといった人材面において、双方の強みや資源を生かした連携が可能ではないかのご提案をいただきました。地域課題の解決や地域活性化には、両者が連携して取り組むことが有益であると考え、協議を重ね本日の協定締結に至りました」と述べました。



続いて、永尾学長、阪本町長が協定書へ署名を行い、包括連携協力に関する協定が締結されました。



署名後、挨拶に立った阪本町長は、「部活動の地域移行における指導者派遣をはじめ、協定に基づく天理大学との連携に大きな期待を寄せています。子どもたちの体力づくりや、外国籍の子どもたちに対する語学支援など、これまでの取り組みを踏まえた上で、地域の課題解決に向けて連携協力を深めていきたいと考えています」と、今後の連携に期待する旨を語りました。



続いて登壇した永尾学長は、「本学はこれまでも県内の自治体と包括連携協定を結び、2024年度には『社会連携センター室』を設置し、地域や企業との連携を積極的に進めてきました。本学は県内で唯一体育学部を有する大学として、部活動の地域展開という喫緊の課題に対し、地域と協力しながら社会貢献に取り組んでいきます。あわせて、スポーツ分野だけでなく、文化・芸術系クラブや国際学部の学生による語学サポートなどについても、今後連携を検討していきたいと考えています。」と述べました。



締結式の最後には、協定事項の一つである「教育・文化の発展のための連携」に関連し、2026年4月1日施行の「学校部活動の地域展開」について、中谷体育学部長が本学の取り組みを説明しました。

中谷学部長は、「本学は奈良県教育委員会とも協定を結んでおり、『奈良県スポーツ・文化芸術指導者人材バンク』への学生登録を推進しています。現在、登録者は100名を超えています。上牧町からはバスケットボール指導者派遣の要望をいただいております。現在調整を進めているところです。本学では、派遣学生には、指導者としての資質向上を目的とした研修も予定しています。今後はクラブ所属の有無に関わらず、より多くの学生にこうした取り組みを周知し、自治体との連携を深めていきたいと思っております」と話しました。



このたびの連携協定をもとに、天理大学と上牧町では、今後さらに相互の発展と地域振興に資する取り組みを展開していく予定です。



## 関連リンク

- [地域・企業との連携](#)